

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(一)槍ヶ岳線					
事業毎の通番		22	市町村名	大町市	箇所名(ふりがな)	宮田町(みやたまち)				
事業概要	事業目的	当該区間は、周辺に小学校、中学校、高等学校があることから、児童や学生の通学路であるとともに、中心市街地へ通じる生活道路でもある。また、大町ダムや葛温泉へアクセスするため、観光にも利用される路線である。現況は両側に歩道があるものの、幅員が1.0mと非常に狭くて通行しにくい上に、車道幅員も5.0mしかないため、自転車の通行や車同士のすれ違いに危険がある。特に、冬期は雪によりさらに幅員が狭まり、歩行者が非常に危険な状態である。しかし、現道の両側に家屋が密集していて、現道拡張は困難であるため、バイパスによる改良で交通の安全を確保したい。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益対象(不特定多数)・計画交通量 1,235台/日								
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.3	国庫	288,000	其他	172,800	県債	19,200
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=1,100m W=6.0(12.0)m			480,000	288,000		172,800	19,200	
	年度事業内容(主な工種)									
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	交通事故の減少 冬期の交通幅員確保							
		間接的効果(定量的・定性的)	地域の活性化 観光道路の改善							
評価の視点	必要性	○代替道路 : あり(主要地方道 扇沢大町線) ○交通結節点アクセス : バス路線(大町市民バス) ○観光地アクセス : 観光地に通じる道路(大町温泉郷、高瀬渓谷) ○地域の活性化 : 活性化に資する						評価		
	重要性	○重点計画との整合 : 快適で暮らしやすいまちづくりに整合 ○緊急輸送道路の路線指定 : 大町市 市内交通確保計画路線に指定 ○地域指定 : 雪寒路線に指定						評価		
	効率性	○費用便益費 : B/C=1.33 ○事業期間 : 5年間 ○工法等の検討 : 計画段階で工法等の検討予定 ○他事業との連携 : なし						評価		
	緊急性	○事故発生件数 : 3件(H12、H13、H18) ○危険箇所対策 : 冬期の交通幅員確保 ○歩道整備 : 歩道はあるが、不十分(現況歩道幅員W=1.0m) ○現況幅員 : W=5.0(8.0)m						評価		
	計画熟度	○事業情報の共有 : 事業化の目処が立った段階で広く周知 ○地域の取り組み : 計画の段階から住民の要望を取り入れていく。 ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民関与が低い						評価		
	部意見	事業の必要性、緊急性が高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性が認められる。			評価結果	総合評価		
							B			

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図

平面図

全体計画 L=1,100m, w=6.0(12.0)m

H26測量設計一式

標準横断面図: 2500, 3000, 3000, 2500, 500

現況横断面図: 1000, 2500, 2500, 1000, 500, 500

事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】

県道 槍ヶ岳線 W=7.0m
積雪が50cm
平成27年 月 日
株式会社 大興建設

(国)148号

大町ダム

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該区間は、周辺に小学校、中学校、高等学校がある通学路であるとともに、中心市街地へ通じる生活道路でもある。また、大町ダムや葛温泉へアクセスするため、観光にも利用される路線である。現況は両側に歩道があるものの、幅員が1.0mと非常に狭くて通行しにくい上に、車道幅員も5.0mしかないため、自転車の通行や車同士のすれ違いに危険がある。特に、冬期は雪によりさらに幅員が狭まり、歩行者が非常に危険な状態であるため、地元から改良の要望が強い。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成16年の道路行政懇談会で、歩道の改良と除雪困難解消について要望があり、H18年から毎年、野口等沿線自治会より強い要望がある。
③事業説明等の経緯	未実施
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	無し
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	構造物は小規模なものにとどめ、出来るだけ目立たないようにする計画である。また、人家連担の現道を避けてバイパス整備とすることで、生活環境にも配慮。
⑥地域活性化への影響と配慮	市街地へ繋がる路線であるため、市街活性化に繋がる。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 30'45"

東経:E 137° 50'29"